

# SCHOOL LIFE

## 新学期特集



米国の新学期は9月からだが、在米の日本人向け教育機関はほとんどが日本式の4月から新学期を迎える。ニューヨーク地区では、世界でも有数の日本人教育機関が集中する場所で、教育の選択肢の多さも世界トップクラスだ。全日制、日本語補習授業校、学習塾、学ぶ場所もさまざま。ニューヨーク地区で受けられる日本人向けの主要教育機関を紹介する。(記載は2020年3月4日現在)

## アメリカで元気に楽しく先生や仲間たちと学ぼう

**プリンストン日本語学校**  
Princeton Community Japanese Language School  
事務局: 14 Moore St.  
Princeton, NJ 08542  
Tel: 609-683-5080  
office@pcjls.org

校舎および日曜事務局:  
ライダー大学内  
ビエレンバウム・フィッシャーホール  
Rider University,  
Bierenbaum Fisher Hall  
2083 Lawrenceville Rd.  
Lawrenceville, NJ 08648  
Tel: 609-895-5628  
www.pcjls.org



は、文部科学省の学習指導要領にそった教科学習や日本語力の維持向上をめざす児童・生徒のための補習授業コース(4月開講)・日本語を外国語として学びたい児童・生徒や成人のためのJASLコース(9月開講)、アダルトコース(10月開講)などがある。多様で充実したプログラムには、NJ州全域はもとより近隣他州からも幼児・児童・生徒・成人が集まっている。また、3歳から5歳までの子供を日本語で保育する幼稚園・保育園、高等部も併設されている。



### プリンストン日本語学校

### 多様化する日本語学習者への対応ー先駆的存在

文部科学省認可の日本語補習授業校であり、NJ州承認非営利団体でもあるプリンストン日本語学校(生徒数333人、三井知枝校長)は、ニュージャージー州中心部の緑豊かな自然に恵まれた環境にある。同校には、長年にわたる海外子女教育およびバイリンガル教育の実績に基づいて考案された独自のカリキュラムのコースがあり、継承語教育の先駆的な存在として知られている。同校の提供するコースには、

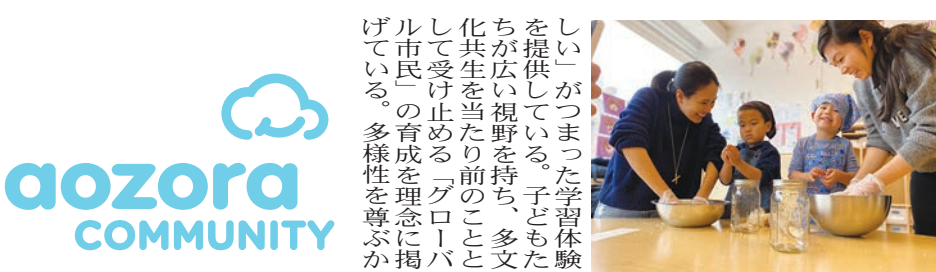
・日本語を外国語として学びたい児童・生徒や成人のためのJASLコース(9月開講)、アダルトコース(10月開講)などがある。多様で充実したプログラムには、NJ州全域はもとより近隣他州からも幼児・児童・生徒・成人が集まっている。また、3歳から5歳までの子供を日本語で保育する幼稚園・保育園、高等部も併設されている。



### グローバル市民の育成を目指す

### あおぞらコミュニティ

(登録生徒数115名)は、ブルックリンで唯一の日英バイリンガルプリスクール、あおぞら学園を傘下とするNPO団体。あおぞら学園の開校当初は幼児教育のみの活動をしてきたが、現在ではプリスクールのみならず、小学生や大人向けの日本語クラスや、日本文化を伝えるコミュニティイベントなども広く開催している。コミュニティの核として、様々な年代の人々を対象とした活動を行い、子どもも大人も共に成長する事ができる、温かくて思いやりのある多文化共生型の学び舎を目指している。



**あおぞらコミュニティ**  
Aozora Community  
535 Clinton Ave, 2nd Fl. Suite 2  
Brooklyn, NY 11238  
www.aozoragakuen.com  
www.aozoracommunity.org



### ブルックリン日本語学園

### 五感を使い体験を通して学ぶ

**ブルックリン日本語学園**  
事務局 BJAFA  
(ブルックリン日系人家族会)  
525 Court St Suite C4-4  
Brooklyn, NY 11231  
Tel: 917-284-5871  
http://bjafa.org/nihongogakuen  
nihongogakuen@bjafa.org

地域で子供を育てていくとして設立されたブルックリン日本語学園は、日本政府認定の補習授業校として、長期滞在する子供や多国籍な家族構成の中で生まれ育つ子供など、多様な子供達の状況に合わせた日本語学習環境を提供している。子供達が自ら行きたいと感じる学習を目指し作られている独自のカリキュラムは、実験活動や美術工作活動、学年を超えたプロジェクトや演劇活動など、五感を使い体験しながら学ぶことを重視したユニークな内容。

学習の相乗効果を考え、現地校での教育内容も柔軟に取り入れている。日本文化を継承するための文化行事も年間を通して数多く実施され、NY市に暮らす日本人・日系人の子供達に必要とされるコミュニケーション力や表現力などを、読む、書く、話す、聞くのバランスの中でしっかりと身につけるためのクラス運営が行われている。授業時間は9時20分から12時20分までの通常授業と、午後2時までの延長授業の組み合わせで構成され、全クラス現在15人以下の少人数制。各クラスでは担任教員とアシスタント教員が、それぞれの子供の日本語習熟度をきめ細かく把握しながら指導を行う。NY市で暮らす子供と家族の生活に配慮し、新年度のスタートは9月。休みなどのスケジュールもNY市の公立学校に準じたものとなっている。運営母体であるブルックリン日系人家族会(BJAFA)が行うイベントなどを通して、子供達は学園の外で出会い、絆を深める環境作りを力を入れている。現児童生徒数142名、幼稚園から高等部までの一貫教育を目指す。新年度2021年(2020年)の16年生まれ)のためのオープンハウスは4月25日、2020年5月20日(1年生まれ)の入園希望者は随時募集している。

